



2010年(平成22年)5月1日創刊

# セーフコミュニティ NEWS

～あいさつで広げよう地域の絆～

第 121 号

## 町内における交通事故の発生傾向は？ ～令和3年の統計から～

長野県警察本部が公表している交通事故の統計などから、県内及び町内の発生状況をまとめました。

近年の事故の傾向や町内のどこでこういった事故が起こっているのか知っていただき、多発箇所では特に無理のない安全運転を心がけましょう。



### ◆ 人身事故の発生状況

#### 県内

平成16年の14,522件をピークに減少が続いており、令和3年は4,772件となっています。死傷者数も同様に減少傾向が続いており、直近の10年間で半数以下に減少しています。

#### 町内

事故件数はおおむね減少傾向が続いていますが、平成30年以降は横ばいとなっており、令和3年は48件でした。死傷者数も同様に平成29年の55人からほぼ横ばいとなっています。

### ◆ 町内における交通事故の特徴

#### 発生場所

国道153号バイパスが非常に多く、特に信号機のある交差点付近で多発しています。また、国道153号、県道伊那箕輪線（春日街道）、県道伊那辰野停車場線（竜東線）、大規模農道でも散見されます。

#### 事故形態別

追突が最も多く、交差点での出会い頭衝突、その他の車両相互による事故、と続いています。

## 夜光反射材を身に着けましょう

役場、文化センター、各区公民館などの入口に貸出用の夜光反射タスキ（右写真）を用意しています。いつでもどなたでも自由にお使いいただけます。

県内の歩行者事故の傾向として、事故は16～19時台に多く発生しており、夜間の道路横断中に多いことがわかります。また、歩行中に事故で亡くなった高齢者の多くが、自宅から500m以内の場所で事故に遭っていることがわかりました。

近所に出かける際にも反射材を積極的にご活用いただき、交通事故から身を守りましょう！

